

宮崎広域都市計画 一団地の津波防災拠点市街地形成施設の変更（宮崎市決定）

都市計画 宮崎西インターチェンジ周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設を次のように変更する。

名 称	宮崎西インターチェンジ周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設					
位 置	宮崎市大字柏原及び大字有田の各一部					
面 積	約 1 4 . 8 ha					
住宅施設、特定業務施設又は公益的施設及び公共施設の位置及び規模	住宅施設	なし				
	特定業務施設	なし				
	公益的施設	規模	備 考			
		約5.7ha	病院等の医療施設、薬局等の医療関連施設及び附属施設並びに防災活動に必要な施設を配置する。			
	道 路	種 別	名 称	幅 員	延 長	備 考
		地区内幹線道路	市道生目の杜西線	12m	約1,000m	片側に歩道を設置し、法面を緑化する。
	下水道	種 別	名 称	備 考		
		公共下水道	宮崎公共下水道	大淀処理区により終末処理場を經由して日向灘へ放流する。		
	その他の施設	緑 地	名 称	規 模	備 考	
			防災緑地	約2.5ha	大規模災害発生時には、救援・救助活動の拠点や被災者の応急仮設住宅等の建築物の敷地等として利用する。	
環境緑地		約2.9ha	周辺住宅への環境障害等の緩和のため、緩衝帯として配置する。			
水 道		宮崎市上水道から給水する。				
調整池	3箇所の調整池により雨水の流出を調整し、一級河川金竹川並びに準用河川跡江川に放流する。					
小 計	約9.1ha （道路・調整池用地を含む）					
建築物の高さの最高限度		3 5 m				
建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度		2 0 / 1 0				
建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度		6 / 1 0				

「区域は計画図、公益的施設及び公共施設の位置は土地利用計画図（参考図）表示のとおり」

## 【都市計画変更の理由】

本地区は、市中心部から西に約6キロメートルの市街化調整区域に位置し、東九州自動車道宮崎西インターチェンジ及び国道10号バイパスに近接した交通利便性の高い地域であるとともに、「宮崎市都市計画マスタープラン」において「防災支援拠点」に位置付けられた地域であります。また、県の後方支援拠点に指定された生目の杜運動公園に隣接した区域でもあります。

当該施設では、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく一団地の津波防災拠点市街地形成施設として、標高28mの高台に位置し、災害時の医療体制を担う「地域災害病院」やそれをサポートする薬局等の公益的施設を配置するとともに、災害時の自衛隊等による救援の受け入れや被災者の応急仮設住宅の建設用地等としての機能を果たす防災緑地を整備いたしました。

さらに、頻発する台風、局所豪雨に伴う洪水、浸水による大規模災害への対応・強化することを目的に、救援・救助活動に必要な水防倉庫の立地を可能とするため、区域内の道路法面の一部を公益的施設に変更し、防災機能の向上を図るものです。

### 新旧対照表

宮崎広域都市計画 一団地の津波防災拠点市街地形成施設の決定（宮崎市決定）

宮崎広域都市計画 一団地の津波防災拠点市街地形成施設の**変更**（宮崎市決定）

都市計画 宮崎西インターチェンジ周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設を次のように決定する。

都市計画 宮崎西インターチェンジ周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設を次のように**変更**する。

旧						新						
名称	宮崎西インターチェンジ周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設					名称						
位置	宮崎市大字柏原及び大字有田の各一部					位置						
面積	約14.8ha					面積						
住宅施設、特定業務施設又は公益的施設及び公共施設の位置及び規模	住宅施設	なし				住宅施設						
	特定業務施設	なし				特定業務施設						
	公益的施設	規模	備考			公益的施設	規模	備考				
		約5.6ha	病院等の医療施設、薬局等の医療関連施設及び付属施設を配置する。				約5.7ha	病院等の医療施設、薬局等の医療関連施設及び付属施設並びに <b>防災活動に必要な施設</b> を配置する。				
	道路	種別	名称	幅員	延長	備考	道路	種別	名称	幅員	延長	備考
		地区内幹線道路	市道生目の杜西線	12m	約1,000m	片側に歩道を設置し、法面を緑化する。						
	下水道	種別	名称	備考			下水道	種別	名称	備考		
		公共下水道	宮崎公共下水道	大淀処理区により終末処理場を経由して日向灘へ放流する。								
	その他の施設	緑地	名称	規模	備考		その他の施設		名称	規模	備考	
			防災緑地	約2.5ha	大規模災害発生時には、救援・救助活動の拠点や被災者の応急仮設住宅等の建築物の敷地等として利用する。							
環境緑地		約2.9ha	周辺住宅への環境障害等の緩和のため、緩衝帯として配置する。									
水道		宮崎市上水道から給水する。										
調整池	3箇所の調整池により雨水の流出を調整し、一級河川金竹川並びに準用河川跡江川に放流する。											
小計	約9.2ha（道路・調整池用地を含む）					小計	約9.1ha（道路・調整池用地を含む）					
建築物の高さの最高限度		35m				建築物の高さの最高限度						
建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度		20/10				建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度						
建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度		6/10				建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度						

「区域は計画図、公益的施設及び公共施設の位置は土地利用計画図（参考図）表示のとおり」